

五、普及教育局
 本局(一)情報普及及(二)教育ノ二部ヲ置ク

五、監督
 本財團事業特ニ財政上及職務上ノ問題ニ関シテ監督委員會之
 カ監督ニ當ル。右委員會ニ六、米國ノ考ヘテ要請スルモノトス
 本會ノ諸研究所ハソノ目的ニ関聯スル諸問題ノ研究、調査、資料ニ
 基キ企劃、設計、或ハ表現ヲナスト共ニソレノ實現建設ニ対シ積極的
 連絡、指導ヲナス。

366

文甲第六五號

起 昭和三十二年十一月四日

閣議決定 昭和三十二年十一月五日施行

昭和三十二年十一月五日 指令

内閣總理大臣 馬

内閣書記官長

内閣事務

外務大臣

文部大臣

運輸大臣

植原國務大臣

内務大臣

厚生大臣

總務大臣

金森國務大臣

大藏大臣

農林大臣

幣原國務大臣

膳國務大臣

司法大臣

商工大臣

齋藤國務大臣

別紙文部大臣請議

「現代かなづかい」實施の件

五

右閣議に供する。

指令案

「現代かなづかい」實施の件請議の通り。

發教一二四號

國民の生活能率および文化水準を向上するため、國語改良施策の一
つとして、かなづかひを改定したいと思ひます。よつて、別冊「現代か
なづかい」をすみやかに實施するやう閣議の決定を請議いたします。

昭和二十一年十一月四日

文部大臣 田 中 耕 太 郎

内閣總理大臣 吉 田 茂 殿

本館蔵書

内閣府大出

田指

令

現代かなづかい

実施

の件

請議

文部大臣

田

中

大

出

紙

昭和二十一年十一月四日

きでいかにしをすふや改訂を要するやを閣議の決定を附録の式に示す。

の事として改訂の改訂を要するに依りて、閣議の決定を附録の式に示す。

閣議の決定を附録の式に示す。閣議の決定を附録の式に示す。

附録一三四

昭和二十一年十一月

現代かなづかい

文部省

一 このかなづかいは、大抵現代語音にもとづいて、現代語をかたじけなく書きあらわす場合の準則を示したものである。

一 このかなづかいは、主として現代文のうち、口読作のものに適用する。

一 原文のかなづかいは、必要のあるもの、またはこれを變更しがたいものは除く。

表記に關する通則

- 第一 ア列長音は、ア列のかなにあをつけて書く。
- 第二 イ列長音は、イ列のかなにいをつけて書く。
- 第三 ウ列長音は、ウ列のかなにうをつけて書く。
- 第四 エ列長音は、エ列のかなにえをつけて書く。
- 第五 オ列長音は、オ列のかなにうをつけて書くことを原則とする。
- 第六 ア列拗音の長音は、ア列拗音のかなにあをつけて書く。
- 第七 ウ列拗音の長音は、ウ列拗音のかなにうをつけて書く。
- 第八 オ列拗音の長音は、オ列拗音のかなにうをつけて書くことを原則とする。
- 第九 拗音をあらわすには、やゆよを用ひ、あをべく、右下に小さく書く。
- 第十 促音をあらわすには、つを用ひ、あをべく、右下に小さく書く。

第一 ぬえをはい えおと書く。たゞし助詞のをを除く。

例

ぬえいと書くもの
 いど (井戸) いのしじ (猪) くわい (慈姑) あい (藍)
 まいる (参る) いる (居る)
 いびよう (胃病) けんい (権威) いち (位置) いたん (遺産)
 いにん (委任) たいい (大尉)
 くわい (区域)
 じよくいん (職員) びよういん (病院) よいん (余韻) すいとう (水道)
 すいさつ (推察) すいじ (炊事) すいじやく (衰弱) すいぶん (随分)
 いつつい (一對)
 ゆいじん (遺言)
 しんるい (親類)
 ぬえいと書くもの

こえ (聲) つえ (杖) すえ (末)
 うえ (植える) すえ (据える)
 えとく (會得) ちえ (智慧) えこう (回向)
 このえ (近衛)
 ちようえ (超越)
 えんきん (遠近) こうえん (公園) けんえん (犬猿)
 いちえん (一圓) びよえん (市苑) えんい (怨嗟)
 えんじよ (援助) えんざい (冤罪)
 ぬえおと書くもの
 おけ (桶) おか (岡) うお (魚) とお (土)
 おどる (踊る) おしえる (教へる) しおれる (萎れる)
 おしい (惜しい) おかしい (をかしい) あおい (青い)
 おのい (汚名) おかん (悪寒)
 ろうおう (老翁)

かおく (家屋)
 おんど (温度) へいおん (平穩) くおん (久遠)
 おんりよう (怨霊)
 ぐわはか がと書く。

例

ぐわをかと書くもの
 かがく (化学) かへい (貨幣) かふん (花粉)
 けつか (結果) かほ (菓子) かく (科学)
 かじ (火事) かもく (課目)
 かいぎ (會議) かいが (繪画) こうかい (後悔)
 はい (破壊) かいすう (回教) けかい (奇怪) ゆかい (愉快)
 かくとく (獲得) かくたい (松犬)
 か (どう) (活動) こうか (狡猾)
 かんげい (歓迎) かんり (官吏) しかん (帰還) いかん (一貫)
 ぐわをか と書くもの

第三

ちまじと書くもの
 がい (瓦礫) がしやう (臥床)
 がいこく (外國) がい (臥床)
 いちがつ (一月) がんやく (丸菓) こんがん (懇願)
 がんり (元利) がんやく (丸菓) こんがん (懇願)
 ちまじと書くもの

例

あじ (味) 小じ (藤) わらじ (草鞋)
 ねじる (捻ぢる) はじる (恥ぢる) よじる (攀ぢる)
 じぞく (持統) じ (痔)
 じく (軸) じんち (陣地)
 じよせい (女性) さくじよ (削除) じゆうにん (重任)
 じゆうけよ (住居) まんじゆう (饅頭)
 ぶをす と書くもの
 ずら (鷄) ず (渦) みず (水)

ゆずる (譲る) うずめる (埋める) さすける (授ける)
 めずかしい (珍らしい) はずかしい (取かしい)
 しずかに (静かに) まず (先づ)
 だす (大豆) ずじより (頭上) さんすのかね (三途の川)
 すが (圖画)

(1) たゞし、二讀の連合によつて生じたぢづは、ぢづと書く。
 例

はぢぢ (鼻血) もらいぢぢ (もらい乳)
 しぢぢめん (緋縮緬) ちぢぢか (逆々)
 みぢぢけ (味噌漬) みかぢぢ (三日月)
 ひぢぢな (引綱) つぢぢね (常々)
 いれぢぢえ (入智慧) ちぢぢのみぢぢやねん (茶飲茶碗)

(2) 同音の連呼によつて生じたぢぢづは、ぢづと書く。
 例

ぢぢぢみ (縮み) ぢぢぢ玉 (縮玉)
 つづみ (鼓) つづら (苜蓿籠)
 つづく (続く) つづる (綴る)

第四 づに發音するものは、わと書く。たゞし助詞のはは、はと書くことを
 原則とする。
 例

かわら (瓦) かわ (河) にわ (庭)
 あらわす (著す) まわる (廻る) こわれる (毀れる)
 あらわない (洗はない) あつかわぬ (扱はない) うたわぬ (款はない)
 かわいらしい (かはらしい) くわしい (譯しい) けわしい (険しい)
 かわかに (俄かに) すなわち (則ち)
 びわ (琵琶) びわ (枇杷)

第五 いに發音するものは、いと書く。
 例

うぐす (鶯) たい (鯛) はい (灰) かわけ (言譯)
 ついやす (費す) たいらげる (手ける) ならい (習い) ます (習い) ます
 おもいます (思います) くだがいます (従います)
 ちいさい (小さい) こいしい (喜しい)
 ついに (遂に)

第六 ウに發音される小はうと書く

例

あらう (洗小) まう (舞小) あう (合小) かう (買小)
 うたう (歌小) しなう (寝小) いう (言小) くらう (食小)
 すう (吸小) ぬう (縫小) ゆう (結小) くらう (狂小)
 あらう (翠小) うけおう (請負小) おもう (思小)
 あやうい (危い)

第七 オに發音される小はおと書く

例

あおい (葵) たい (鯛) たい (倒す)
 あおぐ (仰ぐ) たい (癒る) たい (倒す)

第八 エに發音されるへはえと書く。ただし助詞のへは、へと書くことを原則とする。

例

かえる (蛙) いえ (家) まえ (前) かんがえ (考)
 かえる (帰る) さえずる (囀る)
 すくえ (救へ) ひろえ (拾へ)
 さえ (助詞)

第九 オに發音されるほは、おと書く。

例

いとおい (執勢) かお (顔) しお (塩) におい (匂)
 おおかみ (狼) おおやけ (公) こおり (氷)
 こおろぎ (蟋蟀) ほおすけ (酸将水) ほお (頬)
 ほおのき (朴木) もよおし (催し)
 なおす (直す) しおおせる (為遂せる) とどおる (滞る) とおる (通る)

おおい (多い) おおきい (大きい) とおい (遠い)
ちあ (猶)

第十 ヌの長音は、ゆいと書くもの

ゆうじん (友人) ゆうげん (幽玄) ゆうじん (郵便) ゆうわく (誘惑)
りゆう (理由) しよゆう (所有) ゆうげ (遊戯) ゆうせん (悠然)
ゆりりよ (夏慮)

いふをゆうと書くもの

とゆう (都邑)

第十一 エ列長音は、エ列のなかにえをつけと書くもの

例

ねえさん (姉さん) ええ (応答の語)

第十二 オの長音は、おうと書くもの

例

あうをおうと書くもの

おうか (桜花) ちゆうおう (中央) おうむ (鸚鵡) おうう (奥羽)

わうをおうと書くもの

よおう (弱)

おうらい (後来) こくおう (國五) おうせい (旺盛)

おうじ (皇子) おうごん (黄金) おうし (横死)

あふをおうと書くもの

おうせ (扇) おうみ (近江) おうとつ (凹凸)

おうちう (押捺) おうりやく (鴨緑)

はうをおうと書くもの

あおう (逢はう) かおう (買はう) まおう (舞はう)

こおう (強)

コおよびゴの長音は、こう、ごうと書くもの

かうをこうと書くもの

こうじ (類) こうがい (筭) こうべ (神戸)

ササ | ここ | (咳サかう) | キキ | ここ | (申キかう)

ここ | ばば | しいしい | (かかう | ばば | しいしい)

ああ | ここ | うう | (赤アかう) | ちち | ここ | (近チかう) | ここ | うう | (斯カかう)

ここ | うう | んん | (好カウ運ウン) | ここ | うう | りり | よよ | (考カウ慮リョ) | ほうほう | ここ | うう | (方ハウ向カウ) | しし | ゆゆ | ここ | うう | (酒シユ肴カウ)

ここ | うう | すす | いい | (香カウ水スイ) | ここ | うう | げげ | (講カウ義ギ) | ここ | うう | ざざ | んん | (高カウ山サン) | ここ | うう | かいかい | (航カウ海カイ)

ここ | うう | 小小 | (幸カウ福フク) | ここ | うう | かか | (効カウ果カ) | ここ | うう | つつ | うう | (交カウ通ツウ) | ここ | うう | 小小 | (降カウ伏フツ)

ここ | うう | 小小 | (校カウ風フウ) | ここ | うう | いい | (竹カウ鳥チ) | けんけん | ここ | うう | (健ケン康カウ)

くく | わわ | うう | をを | ここ | うう | とと | 書書 | くく | もも | のの

ここ | うう | せせ | んん | (光カウ線セン) | ここ | うう | たいたい | (宏カウ大ダイ) | ここ | うう | けけ | よよ | うう | (廣カウ狭キョウ)

ここ | うう | 小小 | (黄カウ色シキ) | ここ | うう | ぞぞ | くく | (皇カウ族ゾク) | ここ | うう | せんせん | (荒カウ天テン)

ここ | うう | 小小 | をを | ここ | うう | とと | 書書 | くく | もも | のの

ここ | うう | おお | うう | (甲カウ乙イツ) | たいたい | ここ | うう | (太タイ図ズ) | ここ | うう | かくかく | (岬カウ角カク)

ここ | うう | 小小 | をを | ここ | うう | とと | 書書 | くく | もも | のの

ここ | うう | (劫カウ)

がが | うう | をを | ここ | うう | とと | 書書 | くく | もも | のの

いい | そそ | ここ | うう | (急イツががう) | なな | ここ | うう | (長チガう)

ほほ | んん | ここ | うう | (番バン号ガウ) | さいさい | ここ | うう | (西サイ郷ガウ) | ここ | うう | んん | (強カウ引イン)

ぶぶ | んん | ここ | うう | (文ブン豪カウ) | ここ | うう | ぜんぜん | (傲ガウ然ゼン)

くく | わわ | うう | をを | ここ | うう | とと | 書書 | くく | もも | のの

ここ | うう | ここ | うう | (轉カウ々)

がが | 小小 | をを | ここ | うう | とと | 書書 | くく | もも | のの

いい | ちち | ここ | うう | (一イチ合ガフ)

ここ | 小小 | をを | ここ | うう | とと | 書書 | くく | もも | のの

ええ | いい | ここ | うう | (永ネ劫カウ) | ざざ | いい | ここ | うう | (罪サイ業ゴフ)

おお | よよ | びび | ずず | のの | 長長 | 音音 | はは | ろろ | うう | ぞぞ | うう | とと | 書書 | くく | もも | のの

例

ささ | うう | をを | ろろ | うう | とと | 書書 | くく | もも | のの

はは | なな | ろろ | うう | (話ハさサう) | かか | ええ | ろろ | うう | (忍カさサう) | ちち | らら | ろろ | うう | (散チらラさサう)

ああ | ろろ | うう | (ほホう) | くく | ろろ | うう | (臭クう)

ろろ | うう | (然サう)

さうじ (掃除) 一いつさう (一雙) 一さうが (爪牙) 一さうちよう (早朝)
さうい (相違) 一さうこ (倉庫) 一じゆうさう (重曹)
さうねん (壮年) 一たれさう (作操) 一さうもく (草木)
さうどう (騒動) 一さうどう (争闘) 一さうし (喪失) 一さうしき (葬式)

二 さふをさうと書くもの
さうろう (候小)
さうわ (挿話)

三 さうをさうと書くもの
せいざう (製造) 一さうしよ (藏書) 一さう (象) 一しやうさう (肖像)
四 さふをさうと書くもの
さうじん (雑巾)

ト およびドの長音はとうと書く
例

たうをとうと書くもの
とうげ (峠) 一たとうがみ (豊紙)

うとう (打たう) 一かとう (勝たう) 一たとう (たたう) 一いとう (痛う)

かとう (堅う)

とうけん (刀剣) 一とうしよ (島嶼) 一とうばつ (討伐) 一とうぞく (盜賊)
さとう (砂糖) 一とうせん (当然) 一ねとう (熱湯) 一おうとう (桜桃)

とうき (陶器) 一まとう (祈禱) 一いとう (追悼)

二 たふをとうと書くもの
とうべん (答弁) 一とう (塔) 一とうは (踏破) 一すいとう (水納)

三 だうをとうと書くもの
とうり (道路) 一こうとう (講堂) 一かいとう (海棠) 一ぶとう (葡萄)

例十六 ノの長音は、のうと書く

一 ほうをのうと書くもの

しのう (死なう) 一あぶのう (あぶなう)
だいのう (大脳) 一くのう (苦惱) 一のうちゆう (囊中)

二 ぶふをのうと書くもの

のうにゆう (納入)

三 のふをのうと書くもの

きのう (昨日)

第十七 ホおよびホの長音は、ほう、ぼう、ほうと書く。

一 ほうをほうと書くもの

ほうき (箒) ほうむる (蒸す)

ほうこく (報告) ほうか (邦家) こくほう (國令)

ほうさく (方策) ほうか (包括) ほうび (褒美)

二 ほう (またはほふ) をほうと書くもの

ほうる (投る)

ほうりつ (法律) ほうし (法師)

三 ほうをほうと書くもの

はっほう (八方)

おっほう (酸っぱい)

四 ほう (またはほふ) をほうと書くもの

りほう (立法) せほう (説法)

五 ほうをほうと書くもの

あそほう (遊ぼう) とほう (飛ばう) はこほう (運ぼう)

ほうどう (暴動) ほうけん (冒険) ほうす (坊主) しよほう (書房)

めつほう (滅亡) きほう (希望) ほうちよう (膨脹)

六 ほう (またはほふ) をほうと書くもの

はんほう (貪之)

第十八 モの長音は、もうと書く。

例

まうをもうと書くもの

もうける (儲ける) もうす (申す) やすもう (休まう)

たのもう (頼まう) あもう (甘う) せもう (狭う) もうは (毛髪)

もうどう (妄動) もうちく (盲目) ほんもう (本望) もうまく (網膜)

第十九 ヲの長音は、ようとうと書く

例

- 一 やうをようとうと書くもの
 - ようか (八月) はよう (早) ようやく (漸) ようもう (羊毛)
 - かいよう (海洋) ようくき (様式) たいよう (太陽) ようりゆう (楊柳)
- 二 えうをようとうと書くもの
 - ようりよう (要領) にちよう (日曜) ようはい (送拜)
 - ようけよく (謡曲) ようねん (幼年) ようせう (矢折)
- 三 えいをようとうと書くもの
 - こうよう (紅毛)

第二十 口の長音は、ろうとうと書く

例

- 一 らうをろうとうと書くもの
 - いのろう (祈) かえろう (帰)
 - くろう (暗) かりう (幸) ちろう (租) ろうじん (老人)
 - ろうどう (労働) めいろう (明朗) ろふ (廊下) たらう (太郎)

- 一 らふをろうとうと書くもの
 - ろうそく (蠟燭) きゆうろう (舊臘)
- 二 およびごの長音は、きゆうとうと書く

例

- 一 きうをきゆうとうと書くもの
 - おうきゆう (大曲) きゆうりよう (丘陵) えいきゆう (永久)
 - きゆうよう (休養) きゆうりふ (仇敵) きゆう (灸)
 - ようきゆう (要求) きゆうてき (仇敵) きゆう (灸)
- 二 き小をきゆうとうと書くもの
 - きゆうご (急務) きゆうたい (及第) こきゆう (呼吸)
 - かいきゆう (階級) かんきゆう (感泣) きゆう (給与)
- 三 ぎうをきゆうとうと書くもの
 - ぎゆうにゆう (牛乳)

第二十一 シニおよびジエの長音は、しゆう、じゆうと書く

例

しゅうをじゅうと書くもの

しゅうと (舅) しゅうとの (姑)

あたらしゅう (新しう) オボしゅう (添しう)

しゅうよう (修養) しゅううん (舟運) しゅうじん (囚人)

ゆうしゅう (優秀) しゅうじよう (就業) しゅうにゆう (收入)

しゅうけ (臭気) ばんしゅう (晩秋) きゆうしゅう (九州)

しゅうちよう (酋長) しゅうい (周圍) こんしゅう (今週)

しゅうしゅうと書くもの

しゅうとく (拾得) しゅうちやく (執着) しゅうちゆう (集申)

しゅうめい (襲名) れんしゅう (練習) へんしゅう (編輯)

三 じゅうをじゅうと書くもの

じゅうなん (柔軟) じゅうるい (獸類)

四 じをじゅうと書くもの

じゅう (十) ぼくじゅう (墨汁) じゅうけ (竹器)

五 ぢゅうをじゅうと書くもの

第三三

ぢの長音は、ちゅうと書く。

例

一 ちゅうをちゅうと書くもの

ちゅうやく (重役) ちゅうけよ (住居) ちゅうたい (紐帯)

はくちゅう (白晝) ちゅうかう (铸造) ちゅうたい (抽出) せいちゅう (掣肘)

第三四

ぢの長音は、にゅうと書く。

一 にゅうをにゅうと書くもの

にゅうわ (柔和)

二 にをにゅうと書くもの

にゅうがく (入学)

第三五

ぢよの長音は、いゅう、じゅうと書く。

例

一 いゅうをいゅうと書くもの

いゅうが (日向)

ニ びうをびゆうと書くもの
ゴビウ (誤謬)

第二十六 リユの長音は、りゆうと書く。

一 りうをりゆうと書くもの
リウイ (留意)

りゆうい (留意) せりゆう (り柳) りゆうこう (流川)

二 りふをりゆうと書くもの
イチリ (一粒)

こんりゆう (建立) いちりゆう (一粒)

第二十七 キヨおよびギョの長音は、きやう、ぎやうと書く。

一 ちやうをきやうと書くもの

きやうたん (敬馬嘆) ねつちやう (熱狂) きやうだい (兄弟)

けやうろう (競走) きやうだい (鏡台) きやうりやく (強弱)

とうきやう (東京) きやうもん (経文) こきやう (故郷)

けやうおう (郷食應)

二 けうをきやうと書くもの

きやうじう (校舎) きやういく (教育) マツきやう (鉄橋)

きやうぼく (喬木) きやうりやく (協力) きやうさ (俠氣)

三 けふをきやうと書くもの

けふ (今日) きやうい (脅威) きやうりやく (協力)

けふ (今日) きやうい (脅威) きやうりやく (協力)

四 ぎやうをきやうと書くもの

しゆぎやう (修行) にんぎやう (人形)

五 げうをきやうと書くもの

こんぎやう (今曉) ぎやうしゆん (堯舜)

六 げふをきやうと書くもの

げふ (世末務)

第二十八

一 しやうをしやうと書くもの

しやう (二五) しやうばい (商賈) しやうさい (詳細) ぶんしやう (文書)

しやう (二五) しやうばい (商賈) しやうさい (詳細) ぶんしやう (文書)

しやう (二五) しやうばい (商賈) しやうさい (詳細) ぶんしやう (文書)

ニ せうをしようと書くもの

しょうせつ (小説) | しょうねん (少年) | しょうそく (消息)

しょうしゆ (召集) | しょうたい (招待) | しょうめい (照明)

いしょう (微笑) | しょうしつ (焼失) | しょうじ (暗礁)

三 せふをしようと書くもの

こうしやう (交渉) | さいしやう (妻妾) | しょうけい (捷徑)

四 いやうをしようと書くもの

じやうず (上手) | かんじやう (感情) | じやうたい (状) | じやうば (丈夫)

じやうば (濼穴) | じやうじゆ (成就) | じんじやう (尋常)

五 ちやうをしようと書くもの

しじやう (市場) | かいじやう (令嬢) | じやうぶ (丈夫)

じやうせき (定石) | じやう (鏡) | じやう (丈夫)

六 せうをしようと書くもの

じやうせつ (饒舌) | せうじやう (騷擾)

七 じやうをしようと書くもの

さんじやう (三條)

八 ぢふをしようと書くもの

ろくじやう (六箇) | いちじやう (一帖)

九 ぢの長音をしようと書くもの

ちやうかい (町会) | ちやうたん (長短) | ちやう (腸)

ちやうしゆ (聴取) | ちやうちん (提燈) | いちちやう (一挺)

二 マウをちやうと書くもの

ちやうでん (弔電) | ちやうらい (鳥類) | ちやうしやく (朝食)

ぜんちやう (前兆) | ちやうし (調子) | ちやうこく (彫刻)

三 マフをちやうと書くもの

ちやう (蝶) | つうちやう (通牒)

三十一 ニョの長音はにやうと書く。

ねうをにやうと書くもの

にやう (尿)

第三十一

ヒヨおよびビヨの長音は、いよう、びようと書く。

例

一 いやうをいよう^{ヒョウバン}と書くもの。

いようばん (評判) | いようそく (平仄) | たいいよう (大兵)

二 へうをいよう^{ヘウ}と書くもの。

いようり (表裏) | にいよう (二儀) | とういよう (投票)

いよう (豹)

三 びやうをびよう^{ビョウ}と書くもの。

びようぶ (屏風) | びようき (病氣) | びよう (鉞)

四 べうをびよう^{ベウ}と書くもの。

びようしや (描字) | れいびよう (霊廟)

第三十二

シヨの長音は、みよう^{ミョウ}と書く。

例

一 みやうをみよう^{ミョウ}と書くもの。

みよういち (明日) | じゆみよう (壽令) | みようだい (名代)

みようが (冥加)

二 めうをみよう^{メウ}と書くもの。

みようび (妙技) | みようび (甘字)

第三十三

リヨの長音は、りよう^{リョウ}と書く。

例

一 りやうをりよう^{リョウ}と書くもの。

ぜんりよう (善良) | りようほう (兩方) | りようど (領土)

せいりよう (清涼) | りようさつ (諒察) | ぶんりよう (分量)

二 れうをりよう^{レウ}と書くもの。

りようり (料理) | しゆうりよう (終了) | かんりよう (官僚)

りよう (寂寥) | せきりよう (寂寥) | ぶりよう (無聊)

う い ふ	旧 かな づか い	ほへふ、ふ、ひはづぢぐくをえぬ わわ	旧 かな づか い
ユウ	発 音	オエオウイワズジガカオエイ	発 音
ゆう	新 かな づか い	おえおう、わすぢががおえ	新 かな づか い

新旧かなづかい対照表

注意
 三、れ小をりようりようと書くもの
 りようりよう (獵)

「多、カレ、コグワ、ガ、および、コヂ、ジ、コヅ、ズ」をい、い、分けて
 いる地方に限り、これを書き分けるとさく「かえな、い。」

六

文甲第六七號

起 昭和二十一年十一月十一日

閣議決定 昭和二十一年十一月十一日 施行

昭和三十二年十一月十三日 指令

内閣總理大臣 寺

内閣書記官長

内閣書記官

外務大臣

文部大臣

逓務大臣

殖原國務大臣

内務大臣

厚生大臣

總務大臣

金森國務大臣

大藏大臣

農林大臣

幣原國務大臣

膳國務大臣

司法大臣

商工大臣

齋藤國務大臣

別紙文部大臣請議

「當用漢字表」實施の件

寺

寺

齋藤

幣原

幣原

膳

寺

寺

金森

寺

寺

殖原

ちやう、てう、つふ、
ねう
ひやう、へう
びやう、べう
みやう、めう、
りやう、れう、れふ、

チヨオ
ニヨオ
ヒヨオ
ビヨオ
ミヨオ
リヨオ

〔昭和二十一年九月印刷〕

ちよう
によう
ひよう
みよう
りよう

385